



会長:鈴木 邦昭 幹事:土屋 富士子
副会長:山田 賀昭 副幹事:増田 貴行

第2422回
通常例会/小杉苑

● 会長報告

鈴木 邦昭君

皆さんこんにちは。
この時期は、季節
の変わり目で気温
差が大きくなるこ
とが多く、自律神
経が過剰に働きす
ぎて疲労がたまり
やすく寒暖差疲労
になりやすいよう
です。



自律神経を整えるためには、睡眠や食事、入浴などの生活リズムを一定にすることが重要だといいますが、新型コロナウイルスも世間の関心が低くなってきて年度始まりと重なり宴席も増えてきているように感じます。

自分も週末に連続で集まりがあり、遅くまで懇親会に参加をしましたので、案の定体調を崩し風邪をひきました。

「体調が不調だな」と感じた場合には、まずは生活習慣を見直し、特に睡眠がなによりも重要ですので、「春眠暁を覚えず」ぐっすりとした質の高い睡眠を心掛けましょう。

先週の例会後の夜に、コロナ過で開催できずにいた「新人研修オリエンテーション」を青島クラブ研修リーダーのもと、講師役に江崎パスト会長、山田エレクト、土屋幹事とそれぞれのテーマでお話をいただきました。参加された方はもちろんのこと、自分でも気づかされることがあり大変有意義なオリエンテーションとなりました。そのあとの懇親会でも、普段の例会では話すことがあまりない方とも会話を楽しみながらいい時間を共有できたと思います。

自分の隣が望月会員でしたので、仕事の話から始まりバイクのハーレーのことや腕時計のことなど多岐に話をしましたが、特に金について大変詳しくお話をされていたことが印象に残っています。お酒が入りリラックスした中では、会員の色々な面を知ることができそうですし、そこから親睦が深まっていきますので、テーブルメイトの活用を改めてお願いいたします。

残念ながら今回欠席をされた対象者の方は次回必ず参加をしていただき、ロータリーの価値を

高め、今後もロータリーライフを楽しんでいただきたいと思います。

講師役を務めていただきました三名の皆様改めてお礼を申し上げます。お疲れさまでした。

さて、本日は地区研修・協議会の報告になります。次年度の目標や行動規範の発表等があると思いますので、楽しみにしていただければと思いますが、以前、国内の地区の中で 2620 地区が会員増強で一番成績がいいとご報告をいたしました。

IM の時の浅原ガバナーの挨拶の中で、この部分の話があり現時点では東京の地区に抜かれ全国で 3 位あたりと報告がありました。また、残念ながら退会者がこの時期に多く出てしまうので維持にも努めてほしいとお話がありました。

先月、残念ながらロジテムの伊藤さんが転勤とともに退会をされましたが、地区研修・協議会の報告は新たなロータリーの希望が生まれる第一歩でもありますので、次期山田年度に向けて皆さんと共に前進しつづけていきたいと思いません。しっかりとバドンを渡せるよう引き続きご協力よろしくお願いたします。

● 幹事報告

土屋 富士子君

- ・ガバナー事務局より
青少年海外派遣・研修旅行保険の案内が届きました。
RID3350 (タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム) タイ洪水被害支援アユタヤ県ワンノイ郡コータンクローン小学校「柱補修プロジェクト」の報告が届いています。

● 出席報告

森下 敏顯君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30 / 44 68.18%	35 / 44 79.54%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○大杉君 河森君 ○澤部君
○菅原君 ○鈴木舜君 ○玉木君 ○仲田晃君
○仲田廣君 ○平野君 ○増田君 ○松田君
望月君 柳原君

● ゲスト

グェン ハイ リンさん (米山奨学生)

● 地区研修・協議会報告



会長エレクト
山田 賀昭君

国際ロータリー 第2620地区 2022-23年度
地区研修・協議会 報告

4月23日(日) 2022-23年度 地区研修・協議会がzoomにて開催

12時30分 開会 本会議と分科会が進められました。

会長、幹事、委員長、新会員 11名の皆さんに参加頂きました。

本会議では

1. 2620地区 浅原ガバナー 挨拶

地区研修・協議会は次期クラブ会長に加え、次年度に重要な役割を務める

会員が学ぶ重要な研修であります。中村ガバナーエレクトが示される地区運営

方針と目標を受け止め理解し 具体的な行動を起こし目標の達成と各自クラブ

の活性化を図らなければなりません。

皆様の年度が、希望に満ちた年度となりますことをご期待いたします。

2. 地区研修協議会の意義について

2023-24年度 地区研修委員会 委員長 パストガバナー 志田 洪顕 様

各クラブは年度末にクラブ協議会を開催されると思います、次年度のクラブ活動

方針・行動計画を協議するクラブにとって重要な協議会です。本日の地区協議会

は、次年度活動への意欲を高めクラブの活動方針を作るために他クラブのリーダー

と協議し研修する会であります。

各クラブの協議会がロータリーの奉仕の理想を実現するための会であり、リーダー

である皆様が一堂に会し意見交換する協議の場が地区協議会であります。

どうぞ何かしかの収穫をもって皆様のクラブに活かされることを祈っております。

次期RI テーマ RI 年次目標 地区年次計画説明

ガバナーエレクト 中村皇積 様

2023-24年度 RI会長 ゴードンR. マッキナリー氏 の運営方針が発表されました。

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

ロータリーはより平和で、より希望のある世界を導くことができます。

ロータリーの継続とは、これまでのリーダーのアイデアや取り組みを前進させる

継続とそれを前進させることの重要性を強調されました。

中核的価値観に根差す DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) は、皆さんの

取り組みと認識向上を経て 2023年ロータリーの基本理念に収められました。

世界に希望という明かりを灯す行動計画を期待され、共有するビジョンには

平和への願いを行動し、メンタルヘルスの取り組みと二つの視点を呼びかける

ロータリーの行動計画 私たちは 変化を生むために 手を取り合って 行動する

4つの優先事項と目標を示される

優先事項 1 (より大きなインパクトをもたらす) の目標

優先事項 2 (参加者の基盤を広げる) の目標

優先事項 3 (参加者の積極的なかわりを促す) の目標

優先事項 4 (適応力を高める) の目標

2023-24年度 地区リーダーシップチーム運営方針
ガバナーエレクト中村皇積

まごころを添えよう

社会が本当に必要としていることに応え、高め合おう

ロータリー財団のプログラムに参加しよう

人を育て未来を創るロータリー米山記念奨学に

参加しよう

ロータリーと私たちのストーリーを伝えよう

会員基盤を強化しよう

新会員を輪の中に迎えよう

期待以上のロータリー体験を満喫しよう

マイロータリーでスキルアップしよう

メンタルヘルスについて話し合おう・取り組もう

分科会 会長・幹事 では

1. クラブの活性化につながる 会員増強について協議がされました。

日本 34 地区共有のサイト

JAPAN ROTARY CLUB 案内

2620 地区ホームページよりリンクできるようにします

会員増強は

会長・幹事のやる気の問題が第一である

入会候補者は 入会 3 年までの若手会員から候補者探してみてください

入会候補者のご家族の方を例会に招待、ロータリーの理解を (静岡東 RC)

感動の入会式をしましょう



次年度幹事
村松 繁君

次年度幹事の村松繁です。ただいま、山田会長からも言及がありました感動の入会式について、地区研修・協議会にてガバナーエレクトから一つの示唆をいただきました。過去に行われた入会式のスピーチを読み上げますので、イメージしながらお聞きください。

時は 43 年前に遡ります

入会式 1979 年 4 月 26 日

入会者 中村 靖治様

会長挨拶

ロータリアン 蓮見昭一君

当クラブへの会員候補者とともに前へ来ていた

だけますか。

中村靖治君、あなたは、当クラブ会員より正会員として選ばれ、

よって、飲食業の職業分類を代表することになりました。

あなたは、ロータリーの基本原理、責務、義務を理解し、ロータリアンとなる意思があることを表明されました。

ロータリアンとなるには、事業や職業生活において、

親善と奉仕の原則の実践に努めんとする意思が必要条件となります。

当クラブの会員は、

あなたがこれらの原則をもうすでに実践していると信じるが故に、

推薦しました。

会員としてあなたを選んだことは、

当クラブがあなたを親睦の輪に迎え入れたということだけではなく、

ロータリーの理想を共に実現していく仲間として受け入れたことを意味します。

あなたはこれからロータリアンとして知られ、あなたの行動がロータリーに対する世間の評価に影響することになります。

ロータリーの会員であるということは、名誉であり特権でもありますが、

どのような特権にもそれに値する義務が伴います。

例会に定期的に出席することは、会員の特別義務のひとつです。

これは、親睦を深めていくための基本的な手段であるだけでなく、

自らの職業を代表するひとつの方法でもあります。

クラブおよび社会奉仕活動に参加することが全会員に求められ、

クラブの各委員会は、奉仕の機会を提供しています。

残るロータリー年度に、委員会の委員をぜひ務めていただきたいと思います。

最後に、私たち親睦の理想についてお話しします。

与えるものが多ければ、報いも多いものです。

あなたが親睦から恩恵を受けると同時に、私たちのクラブへの原動力となってくださることを

祈っています。

会員の皆さん、ご起立ください。
ロータリー・クラブの会員として、
中村靖治氏をここに喜んで迎え入れたいと思
います。
また、世界的な組織を象徴する徽章ピンを付
かせていただきます。
このピンを誇りを持って常に着用していただ
けることを願っています。
ロータリアンの皆さん、ロータリアン中村靖
治氏を温かくお迎えください。
中村氏のロータリーでの経験が楽しく有意義
なものとなるよう、
皆さんにもご協力いただけることを期待して
います。

次年度
ロータリー財団委員長
江崎 晴城君



次年度
奉仕クラブ活動
委員長
増田 貴行君
(代読 村松 繁君)

分科会 「奉仕活動・次期ガバナー補佐部会」
報告

- ① 地区奉仕活動委員会として下記の2つの
事業を予定している。
 - ・新会員ステップアップミーティングの開催
基本理念の共有および同期新会員の懇親を図る。
2024年1月以降に実施予定。
 - ・奉仕活動セミナーの開催
小林パストガバナーによるロータリーの基本
理念の講話を行う。
地区委員会以内の3チームの活動報告を行う。
2024年5月12日に開催。
- ② 社会奉仕チームの活動計画の発表
- ・地区グループ単位による合同奉仕事業の
支援を行う。
- ・地区HPに地区内クラブの奉仕活動カレンダー
を作成し、奉仕活動参加促進を図る。

- ・災害ボランティア体制の構築の推進を行う。
- ③ 基本理念チームの活動計画の発表
 - ・ロータリーの基本理念について、その学び
の資料作成を行う。
 - ・奉仕活動セミナーにて講話の企画を行う。
 - ・新会員ステップアップミーティングの開催
を行う。
- ④ 国際奉仕チームの買う同計画の発表
 - ・地区内クラブの国際奉仕活動支援・共同参
画の推進を図る。
 - ・海外RCとの合同グローバル補助金事業の組み
立てをサポートする。
 - ・3350地区との友好地区協定締結しグロー
バル補助金事業を推進する。

次年度
ロータリープログラム委員長
太田 暢裕君



次年度
米山記念奨学会委員
土屋 富士子君

米山記念奨学委員会

米山奨学事業とは 日本のロータリー独自の事
業（日本全国34地区の合同活動）です。日本で
学ぶ外国人留学生の支援（公益財団法人を設立
し運営）

世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視“人
を育てる事業”です。皆様の寄付金で米山事業は
成り立っています。各クラブへの希望といたしま
して4つお願いがございます。

- ① 寄付金地区目標の達成 一人年間16000円
クラブメンバー一人が1000円の寄付をなさ
ただただけですと一人の奨学生のお手伝
い出来ます。
- ② 米山卓話の推進（地区委員長、奨学生、学
友）我がクラブは済です。
- ③ 世話クラブへ立候補しましょう。
- ④ 米山梅吉記念館へ行きましょう。
4番目は日本ロータリーの歴史を見ることが
出来ます。

藤枝ロータリークラブは四つの願い項目の3つはクリアしております。
米山梅吉記念館はいつでも見学ができます。
是非 行ってみてください。



次年度
RLI 新会員部会
村松 英昭君
(代読 大塚 高弘君)

RLI 次期 RLI 委員会委員長 中尾 均さんの話で始まりました。

RLI とは、1992 年アメリカニュージャージー州 7510 地区で始められた、草の根による研修組織です。日本では、現在 29 地区が参加しています。参加する事によって、ロータリーへの理解とモチベーションを高め、クラブの刷新性と柔軟を育み、一層、ロータリーが活性化されていくことを目的としています。RLI は参加型の討論形式で、参加者全員が討論に参加し、自由な発言をする場です。

ファシリテーターの役割 語るな、語らせろについて話され、次年度事業計画の発表があり、次年度は卒後コースをリアルで行います。

最後に、RLI はどなたでも参加できます、新人の方、また、ロータリー歴の長い、短いにかかわらず、積極的に参加して下さいと締めくくりました。

職業奉仕

次期奉仕活動委員会副委員長 堀部莞爾さんよりロータリーの基本理念について、ロータリーの創立から現在までの流れを映像で流し、奉仕、基本理念の再確認をしました。

全ての奉仕の土台にあるものは、職業奉仕をはじめとする、ロータリーの基本理念や価値観であると話され、基本理念をもって、奉仕活動を各クラブに広めていく予定ですとはなされました。



次年度
公共イメージ担当
石垣 善康君

地区研修委員会 PDG 野口英一 リーダー 小林武治

他の人に、話したくなるような各クラブの活動をより多くの人に発信して欲しい。

委員会の4つの方針

1) マスメディアへの情報発信

各クラブの活動を、地区委員会から各メディアに情報提供し、報道に結びつける。

クラブからの活動計画情報を、規定フォーマットを利用して提供してほしい。

2) 公共イメージに関する情報の収集を行い、各クラブへ報告する。

他クラブ、他地区クラブの公共イメージに関する情報を収集し、提供。

3) ハッシュタグキャンペーンの実施

フェイスブック・インスタ・ツイッターでの発信数の多いクラブを表彰。

4) 各クラブから寄せられた、活動をもとに委員会からユーチューブにアップ。

その他

- ・ロータリーの友電子版を読んで欲しい。
- ・ロータリーブランドを、大切に（ロゴの使用に注意）。

●ロータリーの友紹介 石垣 善康君



『ロータリーの友
4月号紹介』

4月は=環境月
間。4月19日は
ロータリーの創
立者、ポールハリ
スの155回目

の誕生日。

<横開きのページ8ページ>

ウクライナレポート「戦時下の日常」

Rotary の編集長が、ウクライナを訪れ市民の生活の様子と、ロータリーの活発な活動を伝える、興味深い記事です。

ロータリーの救援補助金は総額20億円に上ります。その中には救急車・プレハブ住宅なども含まれています。最後にロータリーのネットワークのおかげで、必要な場所に必要な物資を送ることができました。また、今後も継続的な支援を必要としています。

<横開きページ、21ページ>

第2620地区のグループ合同奉仕事業のことが掲載されています。

<横開きページ、49ページ>

日本のロータリークラブの創設者は、米山梅吉氏ではなく、福島喜三次氏であるという記事です。

<横開きページ、61ページ>

医務に従事する公務員一外務省医務官が、アフリカのセネガル・キューバ・ブルガリア・ベトナムで医師として働く中で、いろいろな体験をする、面白く読める発展途上国体験記です。キューバでは、ゴルフ場のグリーンにポールがない。周りの鉄線もない、誰かが持っていたってしまった。ベトナムでは日本人で亡くなられた方の検視に立ち会った事。また、一命を取り留めて日本へ緊急移送した時には、海外医療保険に入っていなかったため、移送のため2,000万円を自ら負担した日本人の患者さん等の内容です。

ロータリーの友電子版のID 2620-01112
パスワード 01112-232



《5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
8	9	10	12	13
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
15	16	17	18	19
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
22	23	24	25	26
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
29	30	31		
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00		

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。



ソングリーダー…… 山田 賀昭君
ソング…… 我らが藤枝ロータリー

四つのテスト



事務局
〒426-0037
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/遠藤 達哉君)